



平成28年度 小櫃地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月21日（土）小櫃公民館にて、

「ちょっとした手助け」「安否確認」について意見交換を行いました。

内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、小櫃地区の地域課題として「ちょっとした手助け」「安否確認」「活動力の低下」「外出できる場の不足」「移動手段」という意見があがり、2回目で検討するテーマを「ちょっとした手助け」「安否確認」との2つに絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。

その後、小櫃地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

ご意見

●ちょっとした手助けについて

- 買い物や地域行事等の参加は、近所の助け合いなど、自然体の中で行われており、世代間の交流や行事等への参加は重要ではないか。
- 実際に誰が何をするのか、ビジョンとニーズをはっきりさせる事が必要ではないか。
- どのだれが何に困っていて、どの程度要望があるのか、把握する必要があるのではないか。個別の地域ケア会議の実施や、相談窓口の周知が必要ではないか。
- 数年前に地区社会福祉協議会で宅配できる店舗を把握し、独居高齢者で家族の支援が受けられない人に情報提供した。
- まごころお届けサポート事業や地域の資源などの情報を共有できていない。

ご意見

●安否確認について

- ・独居高齢者の定義が活動団体によって違いがあり、民生委員では、「同敷地内に家族が居ない65歳以上の方」を対象。地区社会福祉協議会では、「75歳以上で家族が同じ部落に居ない方」を対象にして、自治会を通じて把握している。赤十字奉仕団では、「75歳以上で受け入れてくれる方」。
- ・各団体から、訪問を受けている方もいる中、お隣には誰も行かないという現状もある。お互いに、日頃の活動の情報交換が必要ではないか。
- ・民生委員として、近隣の実情を把握するために、施設訪問をしたい。また介護支援専門員協議会へ講師を頼んで、認知症の対応などの研修をしたい。
- ・介護支援専門員としては、この地区は各団体の活動や近隣住民により、何気ない日常の中で、見守り、安否確認ができていると思うが、システム化、ネットワーク化していくお手伝いをしたい。
- ・それぞれの団体がお互いに効果的に活動するため、対象者の情報を共有したいが、個人情報の問題がある。何か良い方法があるか検討したい。

まとめ

- ちょっとした手助けとして活用できる資源が地域の人に周知されておらず、情報の共有ができていないため、「資源の見える化」の必要があるのではないか。
- 安否確認では、団体を超えた連携が必要。地域の他の団体と個人情報保護を行いつつ、連携を行う取り組みを行っていく必要があるのではないか。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思えます。



君津市東部地域包括支援センター

TEL 0439-27-0710

君津市広岡 375 特別養護老人ホーム
上総園敷地内

君津市地域包括支援室

TEL 0439-56-1732

君津市久保 2-13-1

君津市役所 高齢者支援課